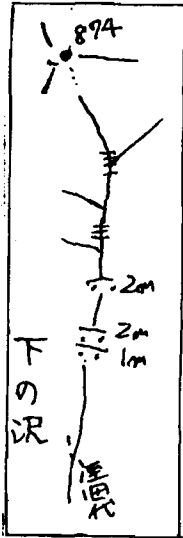


下の沢

1991年8月24日

L2



稜線上で小休止して、12時25分下降開始。10分もしないうちに細いミゾ状の流れとなった。さらに20分程下ると、左から支沢が合流してようやく沢らしい流れとなる。水量は徐々に増えてゆくが、沢はずっと平凡なまま。ようやく出てきた滝も、1~2mの小さなものが3個だけであった。

下降を始めてから1時間半。田代集落から延びてきている踏跡に出あう。ここで下降終了とする。

登ってきた柴倉沢とは対照的に、平凡なままに終始した下の沢であった。

(目)

【タイム】 下降開始(12:25)→下降終了(13:50)→田代集落(14:30)→西部橋(15:20)

袖沢右俣

1991年8月25日

L1

床滑沢手前のテン場を6時20分出発。袖沢出合には10分程で着く。袖沢には、出合からすぐの所に8mの滝がかかっている。しかし私達は、ここまでの間に床滑沢の出合が確認できておらず、袖沢出合だという確信がもてず、もう一度テン場まで戻って床滑沢の出合を確認してから袖沢に入ることとした。床滑沢は、上

